

環境教育揭示用教材 指導資料

環境教育揭示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与え、3 Rをはじめとする地球環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。
本指導資料では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育揭示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育揭示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
海ごみについて考える…私たちの海を守るには？

環境教育について調べて、自分にできることを実行しよう。
海ごみについて考える…私たちの海を守るには？

年 組 名前

① 海ごみの原因や生物などへの影響について考えよう。

② 海ごみに関する世界や日本の取組について調べてみよう。

③ 自分にできる取組を考えよう。

環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

海ごみの現状や、その背景にあるプラスチック使用量の増加について理解するとともに、海洋環境を守るために、自分にできる取組を考え、実践する。

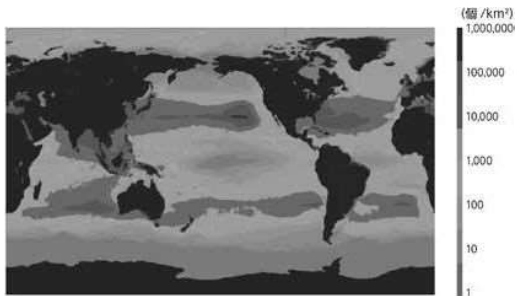
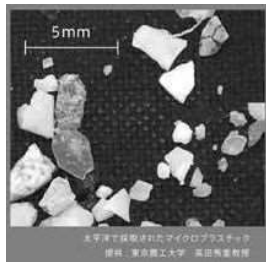
活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆揭示用教材等との関連
○揭示用教材①を見て、海ごみが、国境を越えた問題になっていることについて話し合う。 海洋環境を守るために、自分にできる取組を考えよう。 ○揭示用教材②③④を基に、海岸漂着物の7割以上をプラスチックが占めていることを知るとともに、その理由や生物などへの影響について個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。 ○揭示用教材⑤を基に、海ごみに関する世界の取組について知るとともに、プラスチック削減に向けた世界の取組について考え、話し合う。 ○揭示用教材⑥を参考に、自分にできることを考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇写真を基に、国境を越えた環境問題になっている海ごみの影響について考えさせる。 ◇グラフを参考に、生活に広く浸透したプラスチックが海に流れ、海岸漂着物の大半を占めていることを理解させる。 ◇特に微細化したマイクロプラスチックによる汚染が地球規模で広がり、生態系に影響を及ぼしていることを伝える。 ◇国連やG20などによる海洋汚染防止や海ごみ削減への取組について伝える。 ◇世界中でレジ袋やプラスチック容器への規制が進み、生分解性プラスチックへの切替も始まりつつあることを伝える。 ◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。 ◇生徒一人一人が地球環境保全につながる生活の必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	◆揭示用教材① ◆揭示用教材②③④ ◆ワークシート① ◆揭示用教材⑤ ◆ワークシート② ◆揭示用教材⑥ ◆ワークシート③

かんきょう
環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。

海ごみについて考える…私たちの海を守るには？

____年 ____組 名前_____

- 1 海ごみの原因や生物などへの^{えいきょう}影響について考えよう。



- 2 海ごみに関する世界や日本の取組について調べてみよう。



- 3 自分にできる取組を考えよう。

